

みちくさ いたずら こどものじかん

新山 裕之



しゅんぶん

春分（20日）… 園庭の桜はすでに開花し、咲き進んでいます…

夕方、5時を過ぎてまだ明るいことにちょっと驚く今日この頃です。今年は冬の寒さと2月以降の温かさと適度な雨のお陰で、園庭の桜が修了式を前に開花し、日々咲き進んでいます。かえでも鮮やかな黄緑の新芽が萌え出る季節となりました。

<雀始巢 すずめ はじめて すくう 3月20日~24日>

春分の初候は「雀始巢」です。ところで、都会のスズメはどこにどんな巣を作るのでしょうか。

<最後まですてきな関わりが>

最後の数日は、ドッジボールで年長児が年中児を守ったり、ステージを作って歌って見せて、その後、年少児にステージを交代したりするなど、園庭では学年を越えたすてきな関わりがたくさん見られ、実に幸せな時間が流れました。

<心がつながる修了式>

今回の修了式は、昨年に続いて青南小学校の皆さんの全面協力のお陰で、広い体育館で全員揃って挙行することができました。事前の練習もでき、マスクをしながらもしっかりと「お別れのことばと歌」を保護者の皆さんに届けることができました。年中、年少児たちは事前に「お祝いのことばと歌」を撮影し、式の中でスクリーンからメッセージを届けました。お祝いのメッセージは掲示板2台いっぱいになり、子どもたちは、そこに居なくても、たくさんの人たちに自分たちが見守られていることを感じたはずです。

<修了おめでとう！>

私からは、二人の担任が最も大事にしてきた「失敗を恐れず、やってみよう！」という思いを改めて伝え、最後に「感謝する心を忘れないで」と付け加えました。心の根っこが育った43人は、大きな木になって、いつか「心のふるさと」に顔を出してくれることでしょうか。楽しみに待っています。



修了を祝うように桜が咲き始めました



僕がボールから守るから安心して！



今度は小さい子たちが歌ってみてね



祝電は2台の掲示板いっぱい



年中、年少からのメッセージは画面から



保護者にお別れのことばと歌を披露！



在園児保護者が作ったアーチなどで飾られた園庭で、有志が花道を作ってお見送り



担任から最後の感謝のご挨拶